

下水道2050カーボンニュートラル達成に向けて

下水道2050脱炭素(CN)に向けて
調査・計画策定をNJSがお手伝いいたします



ロードマップとなる計画から調査・検討、研究まで支援します

- 脱炭素計画、具体的なCN事業計画、計画との実行・進捗状況のモニタリングまで支援します。
- CNに関する新技術調査、下水処理場の創エネ導入・自立化検討、民間連携検討を支援します。
- 下水道にマッチした創エネ技術、CCUS技術の共同研究にも参画、支援いたします。

計画

- ・脱炭素計画
- ・脱炭素事業計画
- ・脱炭素施設設計
- ・モニタリング

調査・検討

- ・CN技術調査
- ・自立化検討
- ・創エネ導入検討
- ・民間連携検討

共同研究

- ・創エネ技術
- ・自立化技術
- ・CCUS技術*



計画

脱炭素計画は、2050年カーボンニュートル(CN)を命題として策定支援をいたします。

2030年、2050年の目標達成に向けて異業種、他分野との連携も提案いたします。

さらに、CN目標への到達度・達成率などの進捗モニタリング、CN技術の技術革新、新技術の状況を踏まえた計画の更新も提案、支援いたします。

NJSは当社独自の社内研究・開発のほか、下水道事業体と各地域に適した技術開発のための共同研究にも提案、参画をいたします。

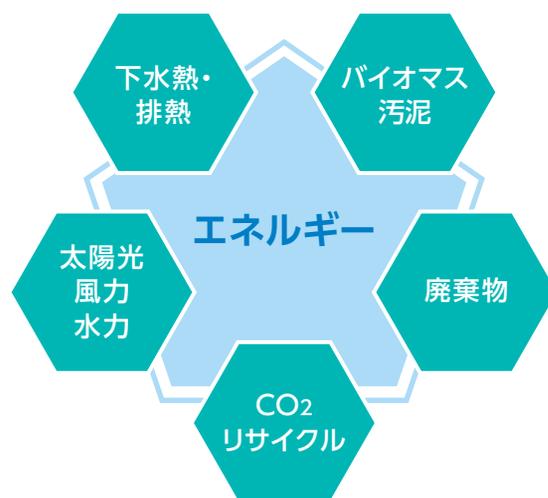


調査・検討

下水道事業は、地域の生活・衛生環境の向上、公害防止、自然環境の保全に寄与する社会的システムとして推進されてきました。一方でエネルギーを使用するシステムでもあり、今後も下水道の脱炭素化の促進に向けてさらなる省エネ化に向けた調査・検討を支援いたします。

さらに、事業の安定性・継続性も強く求められる時代に向けて広域化・共同化において施設用地などの保有ストックをエネルギー面での有効活用やエネルギー連携も提案いたします。

また、下水を中心とした地域バイオマスなどからエネルギーを取り出し、下水道のエネルギー自立化、地域のCNに貢献するエネルギー拠点化を支援いたします。クリーンエネルギーとして注目されている水素の活用を図るための仕組みづくりなども提案いたします。



地球温暖化による気候変動が深刻化しており、様々な分野で脱炭素化に向けた省エネ・創エネ・再生可能エネルギーに関する技術の研究が活発に行われています。

下水道においても下水が本来もつエネルギー等を利用し、消費エネルギーを超える創エネを実現(エネルギー自立化)する取り組みが求められる時代になりつつあります。

当社は、カーボンニュートルの実現に向けた検討や議論の素材としてご活用いただくことを想定し、下水道処理場におけるエネルギー自立化に向けた「海外の先進例」や「国内下水道への提案事項」整理した研究レポートを作成いたしました。

本レポートの概要版は当社HPIに掲載しております。

(https://www.njs.co.jp/news/bridge.html?guid=announcement_78135)

水と環境の Consulting & Software



株式会社 NJS

〒105-0023 東京都港区芝浦一丁目1番1号
TEL:03-6324-4357 FAX:03-6324-4356
<http://www.njs.co.jp/>